

4. 皆様へお知らせ

<東京外環プロジェクトホームページで各種情報をお知らせしています>

シールドトンネルはどこまで来ているの…?

シールドマシンの現在位置を毎日お知らせしています。また、シールドマシンの過去の進捗状況についても、日付と対象の工事名を選択して検索ができますので、是非ご覧ください。

地上部への影響はどうなの…?

振動・騒音・地表面計測のモニタリング結果をお知らせしています。過去の結果についても、日付と対象の工事名を選択して検索ができますので、是非ご覧ください。

その他、過去のオープンハウスの資料や、工事の状況等に関する主なご質問とその回答なども掲載しております。

<家屋調査の実施>

シールドトンネル工事の掘進作業や地中拡幅工事にあたっては、細心の注意を払い、慎重に進めてまいりますが、万が一、工事の施工に起因する建物等の損害が発生した場合は、当該損害に対して補償させて顶くため、工事実施前の建物等の状況を把握する家屋調査を工事箇所周辺にお住まいの皆様を対象に実施しています。

平成27年度以降、外環沿線で家屋事前調査を実施させていただいているところですが、今後、シールドマシンが到達する地域において、下記の方を対象に家屋事前調査を実施いたしますので、調査をご希望される方は、お問い合わせ先までご連絡ください。

○今まで調査未実施で新たに調査をご希望される方

○ご自宅を新築された方

○ご自宅の建替えやリフォームをされた方

過去に実施させていただいた調査結果については今後も有効なものとして取り扱いいたしますが、再度の調査をご希望される方は、お問い合わせ先までご連絡ください。

【練馬区・杉並区・武蔵野市にお住まいの方】

NEXCO 東日本 関東支社 東京外環工事事務所
TEL: 0120-861-305(フリーコール)
受付時間: 平日 9:00-17:30

【世田谷区・狛江市・調布市・三鷹市にお住まいの方】

NEXCO 中日本 東京支社 東京工事事務所
TEL: 0120-016-285(フリーコール)
受付時間: 平日 9:00-17:30



<事業再評価を実施しました>

再評価実施要領では、前回再評価から5年間が経過した時点で、事業再評価を実施することとされています。

東京外かく環状道路（関越～東名）事業では、前回再評価（令和2年）から5年が経過したことを受け、再評価を実施しました。

令和7年度の第3回（10月9日）及び第4回（10月27日）関東地方整備局事業評価監視委員会において審議を行った結果、対応方針（原案）の通り事業継続の方針で了承されています。

<外環メールマガジン>

外環メールマガジンにご登録いただくと、施工状況等の情報を随時お送りします。
是非ご登録ください。



外環JOURNAL

ガイカンジャーナル



NEWS

1. 中央JCT南側Bランプシールドトンネル工事 事業用地外の掘進作業へ

中央JCT南側Bランプシールドトンネル工事は、令和2年10月に調布市つつじヶ丘で発生した地表面陥没・空洞事故を受け、「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み」をとりまとめ、令和6年1月30日より掘進を開始しています。

事業用地内における掘進において、再発防止対策が有効に機能していることを確認し、去る令和7年8月24日～25日に、中央JCT南側ランプシールドトンネル工事の状況や事業用地外の掘進作業などに関して、沿線にお住まいの皆様を対象にオープンハウスを開催し、ご説明させていただきました。

その後、令和7年9月16日より掘進作業を再開し、現在は事業用地外の掘進作業を進めています。引き続き事業者一同、他のシールドマシンも含め細心の注意を払い安全に工事を進めてまいります。



オープンハウスの開催状況



現場視察会の開催状況

2. 大泉側本線（北行）シールドトンネル工事 練馬区内での掘進を完了

平成31年1月に大泉JCTから発進した大泉側本線（北行）シールドトンネルについて、練馬区内での掘進を完了いたしました。

引き続き、杉並区内での掘進を進め、武蔵野市内の井の頭通り付近までの掘進を予定しております。

南行トンネルについても、北行に續いて掘進しております。

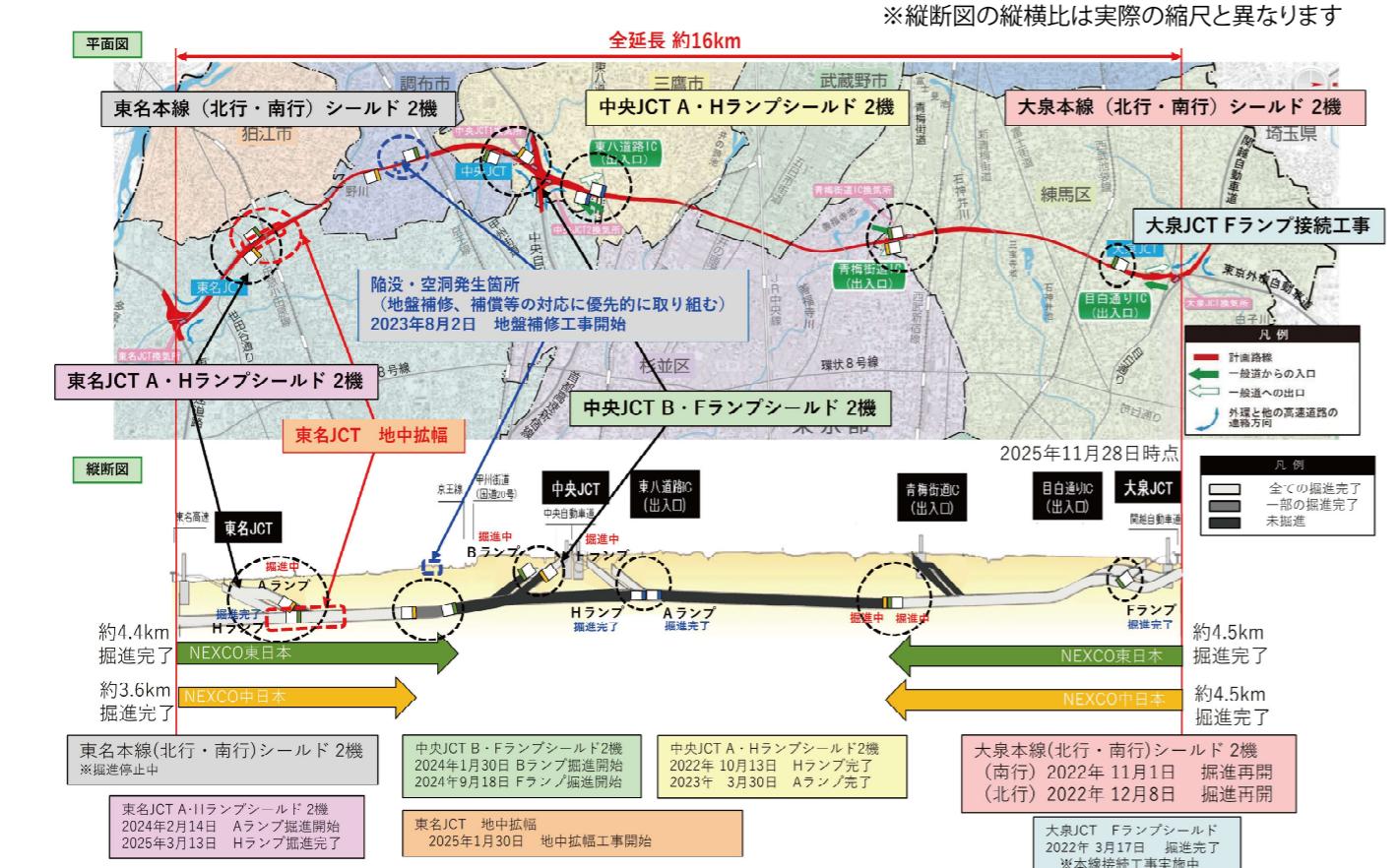
今後も、再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを確実に履行し、施工状況や周辺環境のモニタリングを行いながら、細心の注意を払い工事を進めてまいります。



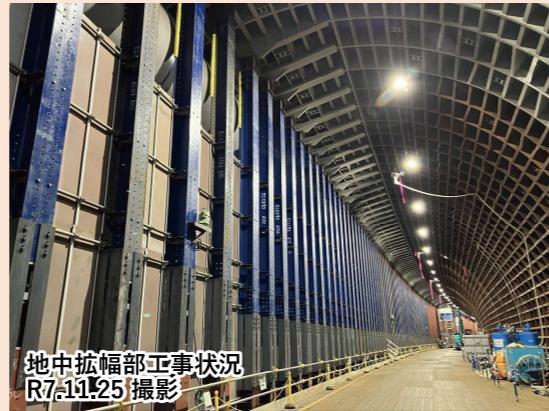
大泉側本線シールドトンネル工事状況

3. 工事の状況をお知らせします

- シールドマシンの掘進作業については、再発防止対策等が有効に機能していることを、有識者委員会で確認しており、安全に作業を進めています。
- 各JCT部においても、外環道と既存の高速道路を接続する連結路(ランプ)部工事や開通後に必要となる設備の工事を進めています。



東名JCT



本線シールドトンネル北行に接続する連結路(Aランプ)について、シールドマシンによる事業用地外の掘進を行っています。また、JCT部の本線シールドトンネルと連結路(ランプ)シールドトンネルの分岐合流部を地中にて切り抜ける地中拡幅工事を進めています。現在は拡幅時に既存のトンネルが変形しないように、事前に内部支保工の設置を進めています。地上部においては、連結路(ランプ)の橋りょう下部工事の準備工事や設備用の地下構造物の構築を進めています。

また、令和6年の台風10号に伴う大雨の影響により工事中の土留壁等で変状を確認したことから、安全のため隣接する世田谷区道の通行止めを行い、迂回路をご利用いただいておりましたが、変状した土留壁等の撤去が完了し、通行の安全が確保されたため、元の位置での通行を令和7年9月より再開しました。

大泉JCT



2本ある連結路(ランプ)のうち、本線シールドトンネル北行に接続する連結路(Fランプ)については令和4年3月シールドマシンによる掘進が完了し、現在、本線とランプとを接続するための工事を進めています。

また、本線シールドトンネル南行に接続する連結路(Bランプ)は地上部からの開削により構造物の構築を進めています。

中央JCT



南側の2本の連結路(ランプ)について、シールドマシンによる掘進を行っています。

なお、本線シールドトンネル北行に接続する連結路(Fランプ)については、令和7年12月上旬に仙川直下を通過しました。また、シールド工事以外の連結路(ランプ)部及び設備用の地下構造物等の構築を進めています。

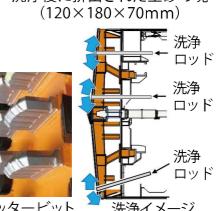
<大泉側本線(北行)シールドトンネルの掘進状況等(掘進速度の低減)>

大泉側本線(北行)シールドトンネル工事では、大泉JCTから約4.2km付近にてカッタートルク^{※1}の上昇傾向が確認されたことから、再発防止対策に基づき掘進速度を低減し、慎重に掘進を行っています。要因は、支障物切削のため密に配置したカッタービット^{※2}に粘性の高い土砂が固着し、その状態で硬質な礫層の掘進を行ったことであると推定されました。

対応として、固着した土砂を除去するためにカッタービットの洗浄を繰り返し行った結果、カッタートルクが低下し、掘進速度が改善しました。

引き続き、細心の注意を払い慎重に掘進してまいります。

※1) 切羽を掘削するのに必要なカッターの回転力 ※2) 地山を掘削する刃



<地盤補修工事の進捗状況>

令和2年10月18日に調布市内で発生した陥没・空洞事故及び、その後の地盤補修工事におきましては、地域の皆さんに大変なご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

地盤改良体の造成の進捗は約6割^{※1}となっており、令和6年12月のオープンハウスにて「令和4年12月の準備工事着手から概ね2年程度を想定していた地盤補修工事の期間は、1年程度延長となる見込み^{※2}」とお知らせしていましたが、現在の家屋解体や地盤補修の進捗状況を踏まえ、地盤補修工事の期間は更に1年程度延長となる見込み^{※2}です。

引き続き、地盤補修範囲にお住まいの皆さまへは丁寧に仮移転・買取についてお願いさせていただき、責任をもって地盤補修を実施してまいります。

※1)令和7年1月30日時点 ※2)仮移転・買取等の交渉・移転が順調に進んだ場合

